

〈現地ルポ〉

宗教法人解散で揺れる 旧統一教会&天地 正教の点と線



清水町

帯広市



3年前の参議院選挙中の安倍晋三元首相襲撃事件に端を発した「世界平和統一家庭連合」（旧統一教会）の高額献金や霊感商法問題。東京地裁は今年3月に教団に解散命令を下し、現在も係争中だが、それに関連して注目されているのが総額1100億円超といわれる教団財産の行方と帯広に本山がある「天地正教」の存在だ。舞台は、十勝管内の清水町と帯広市。現場を取材し、2つの教団を結ぶ「点と線」を探ってみた。（本誌取材班）

霊峰の麓で宗教活動

「昔のことだから記憶が薄れているがね、平成6（1994）年頃だったと思うな。天地正教や旧統一教会の信者たちが、この旭山地区に宿泊施設を建設しようとしてね。町民全員が猛反対してその建設を阻止したんです」
こう話すのは、清水町の若原匡二元町長（88）だ。いきさつは、こうだ。宗教家の川瀬カヨ氏（故人・士幌町出身）が統一教会で修行して天地正教という教団を帯広市内に設立した。その川瀬氏が清水町にある剣山の麓に土地を取得して建物を建て宗

何十台と来てね。町民は皆、びっくりしてね」（若原元町長）
そこで当時町長だった若原さんは、帯広市内にある天地正教の本山（本部）に赴き、天地正教の幹部に宿泊施設の建設撤回を申し入れたところ、教団側は建設計画を断念したと

いう。
ちなみに祈願祭が行われた天地正教所有の土地（計83㌔）と建物は2003年と14年に旧統一教会が取得し、現在に至っている。
なぜ、剣山の麓が天地正教や旧統一教会の活動の拠点になったのか。

若原元町長は、「剣山は昔から霊山として知られていてね。信者の人たちがそこで

修行していたから、それと関係があるんじゃないかな」と話す。
剣山は、清水町と芽室町の2町にまたがる標高1205㍎の低山。十勝の霊峰として知られ、登山口の右側には「剣山神社」がある。登山口から3合目まで33カ所に札所（地蔵）が設置され、信者たちから「お参りの山」として親しまれている。



▲「霊峰剣山」の石碑

教活動を行った。そこで年に一度祈願祭が行われて全国から信者たちが集まったが、宿泊場所が足りなかったのので、宿泊施設を同町の旭山地区に建てようという計画した——というのだ。
「最初は細々と宗教活動をやっていただけですが、だんだん規模がでかくなってね。祈願祭になると全国から1万人がこの町にどっと押し寄せた。大型バスが



▲剣山

▲登山口の左には「地蔵」が...



続きは『**月刊クオリティ**』本誌を
ご覧ください。

▼ ご購読のお申し込みは ▼

○インターネットでのお申し込みはこちらから
<https://qualitynet.co.jp/koudoku/>

○お電話でのお申し込みはこちらから

TEL 011-644-0101

(9:00 ~ 17:30 土日・祝日をのぞく)